

令和 6 年度(2024 年度) 豊中市の学校における
「いじめ」に関する現状と課題について

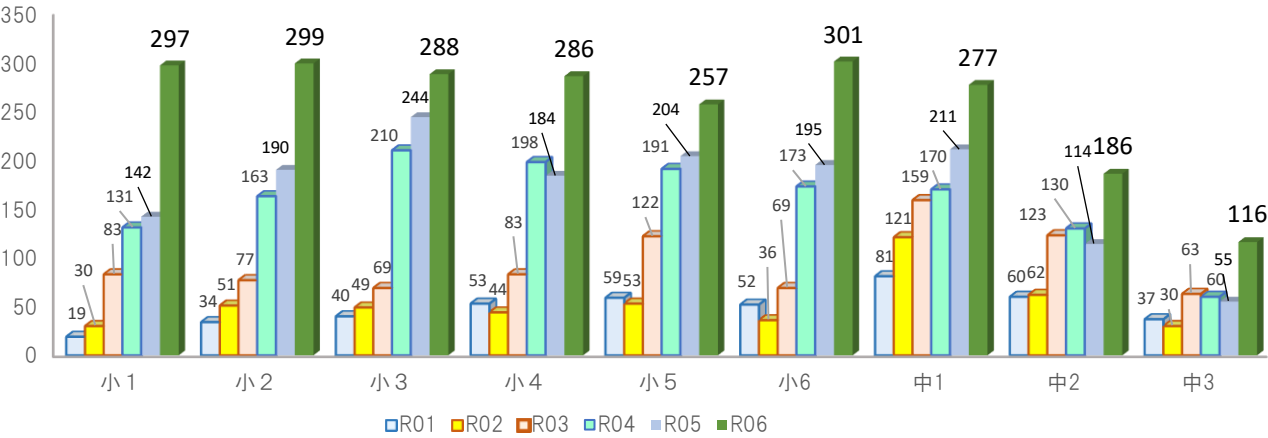
資料 7

※義務教育学校における前期課程は小学校として、後期課程は中学校として集約しています。

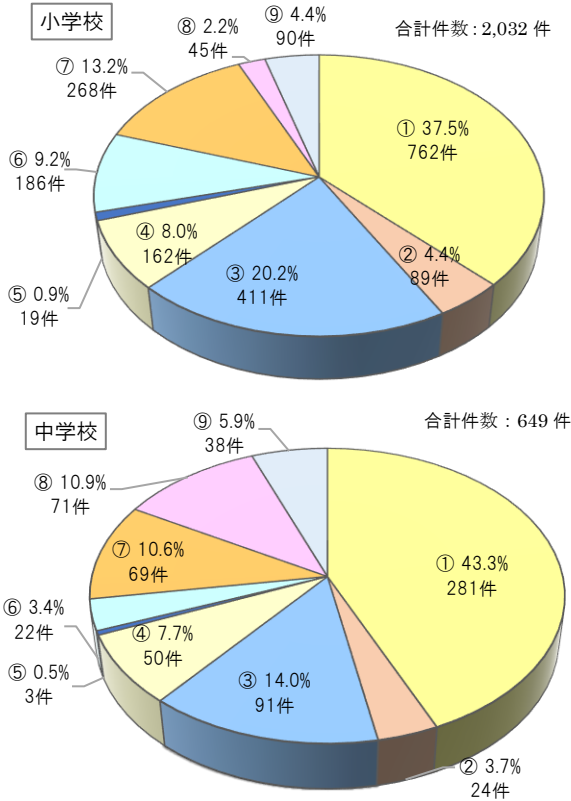
令和 6 年度(2024 年度) 豊中市の「いじめ」について

	認知件数	認 知 した 学 校 数	いじめの 現在の状況 「解消しているもの」	いじめ発見のきっかけ							
				教職員が発見(学級担任含む)		本人から の訴え	本人の保護者 からの訴え	児童生徒からの情報 (本人以外)	保護者からの情報 (本人保護者以外)	関係機関からの情報 (相談機関含む)	その他 (地域 産 業 など)
					アンケート調査など 学校の取組み						
	件 数 (件) (千人率)	学校数(校) (構成比)	件 数 (件) (割合)	件 数 (件) (割合)	件 数 (件) (割合)	件 数 (件) (割合)	件 数 (件) (割合)	件 数 (件) (割合)	件 数 (件) (割合)	件 数 (件) (割合)	件 数 (件) (割合)
小学校	1728 (78.3)	39 (100%)	1617 (93.6%)	344 (19.9%)	68 (3.9%)	518 (30.0%)	653 (37.8%)	149 (8.6%)	46 (2.7%)	7 (0.4%)	11 (0.6%)
中学校	579 (58.0)	17 (100%)	502 (86.7%)	234 (40.4%)	11 (1.9%)	170 (29.4%)	107 (18.5%)	60 (10.4%)	6 (1.0%)	1 (0.2%)	1 (0.2%)

豊中市 学年別いじめ認知件数(経年比較)



令和 6 年度(2024 年度)
豊中市 いじめ態様別 件数及び割合(%)



現 状

(1)本市のいじめの認知件数について(令和 6 年度(2024 年度))

- ・小学校のいじめの認知件数 1728 件(昨年度より 569 件増加)
児童千人当たりの認知件数は 78.3 件である。
- ・中学校のいじめの認知件数は 579 件(昨年度より 199 件増加)
生徒千人当たりの認知件数 58.0 件である。
- ・市全体のいじめの認知件数は 2307 件(昨年度より 768 件増加)
児童生徒千人当たりの認知件数 72.4 件である。
- ・本市の小学校におけるいじめの認知件数(R6)の千人率は府(R5)や国(R5)と比較すると低く、中学校におけるいじめの認知件数(R6)の千人率は府(R5)や国(R5)よりも高くなっている。

(2)本市の学年別の認知件数について(令和 6 年度(2024 年度))

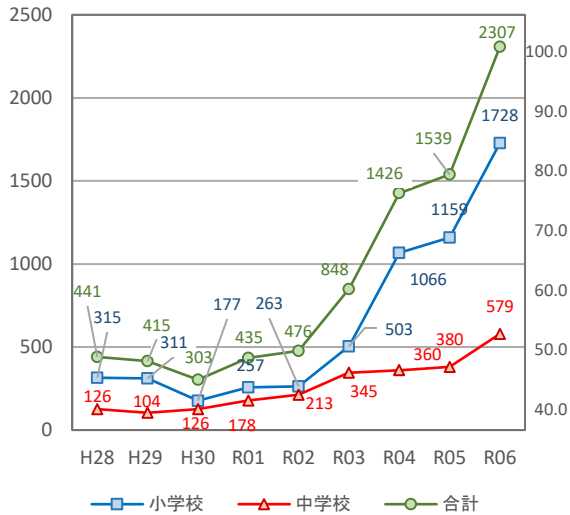
- ・小学校、中学校ともに全学年において認知件数が昨年度より増加している。特に小学校 1、2、4、6 年生、中学校 2 年生が顕著である。いじめ防止対策推進法に基づいた積極的認知の浸透が見られる。
- ・中学校では学年を重ねるごとに認知件数が減少傾向にある。

(3)本市のいじめの態様について(令和 6 年度(2024 年度))

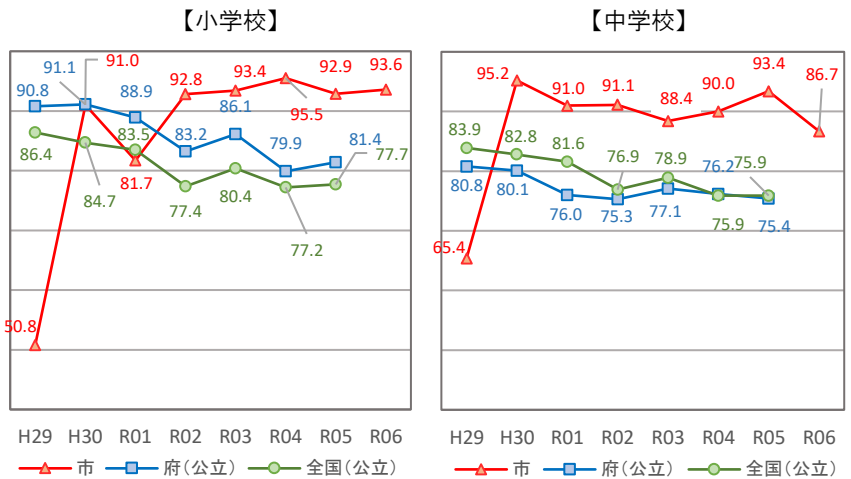
- ・態様①において小学校では約 3.8 割、中学校では約 4.3 割を占めている。
- ・態様⑧においては小学校より中学校の方が増加している。

①冷やかし等を言われる ②仲間はずれにされる ③軽くぶつかられたりする
④ひどくぶつかられたりする ⑤金品をたかられる ⑥金品を隠されたりする
⑦嫌なこと等をされたりする ⑧パソコン等で誹謗中傷等をされる ⑨その他

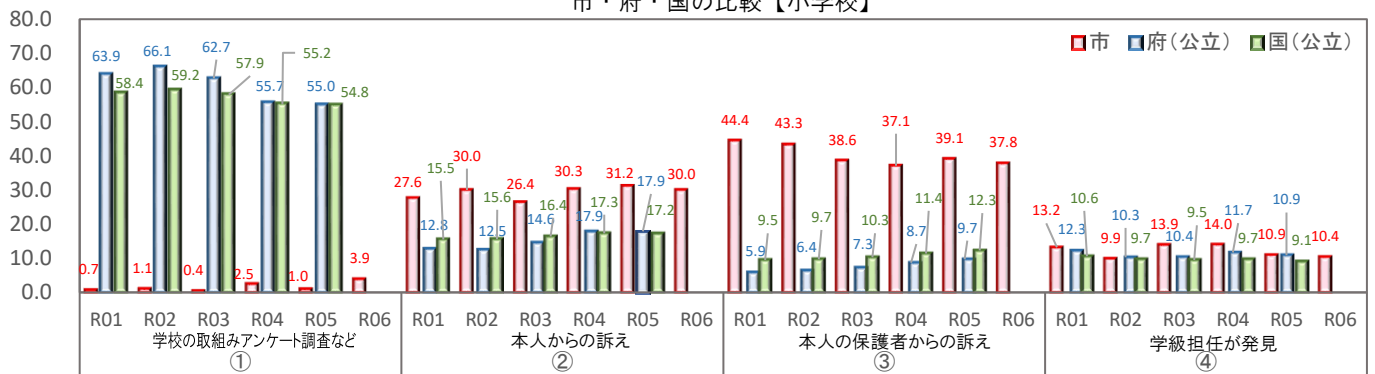
豊中市 いじめの認知件数の推移



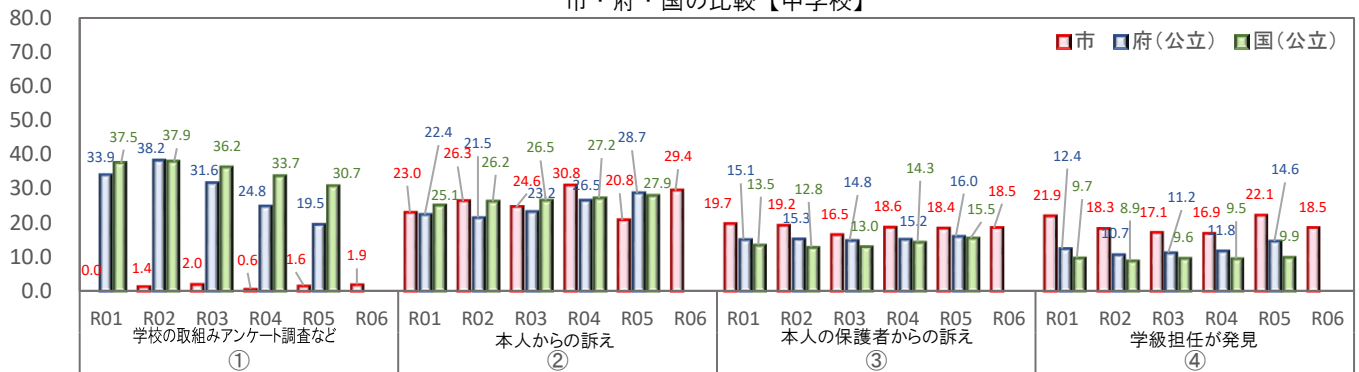
いじめの現在の状況「解消しているもの」の割合(%) 市・府・国の比較



いじめ発見のきっかけの割合(%)
市・府・国の比較【小学校】



いじめ発見のきっかけの割合(%)
市・府・国の比較【中学校】



現状

(4)本市におけるいじめの解消率について

・令和6年度(2024年度)のいじめの解消率は、小学校で93.6%(1,617/1,728)、中学校で86.7%(502/579)である。

(5)本市のいじめ発見のきっかけについて

- ・小学校では「本人保護者からの訴え」が最も多い。次に「本人からの訴え」、「学級担任が発見」の順に多い。府や国と比較すると「本人保護者からの訴え」の割合の高さが顕著なままである。
- ・中学校では、「本人からの訴え」が最も多く、次に「本人保護者からの訴え」、「学級担任が発見」が多い。府や国と比較すると「学級担任が発見」の割合が高い傾向にある。
- ・小中学校ともに、「学校の取組み(アンケート調査など)」の割合が、府や国と比較すると極端に低く経年で継続したままである。

課題への取組み

(1)小学校におけるいじめの認知件数(千人率)

➢いじめ認知件数(千人率)の低い小中学校に対して、いじめに関する校内研修の実施、学校いじめ防止基本方針の職員周知の徹底。(東京都教育委員会作成「いじめ総合対策【第3次】上・下巻」参照)

(2)解消に向けての丁寧な対応の促進

	R4(2022)			R5(2023)			R6(2024)		
	小	中	計	小	中	計	小	中	計
いじめ認知件数(市)	1066	360	1426	1159	380	1539	1728	579	2307
1,000人当たりの認知件数(市)	47.8	36.8	44.5	52.2	38.2	47.8	78.3	58.0	72.0
1,000人当たりの認知件数(府)	109.2	56.9	84.1	141.3	52.6	112.4			
1,000人当たりの認知件数(国)	89.1	34.3	70.3	97.4	40.7	78.8			